

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	IPPOプログラミング須磨校		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 日		～ 2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2026年 3月 13日		～ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる環境づくりを大切にしていること。	児童が安心して過ごせるよう職員が丁寧な関わりを心がけている。困りごとや不安がある際には児童の気持ちに寄り添いながら対応し、安心できる環境づくりを行っている。	職員間で関わり方を共有しながら、より安心して過ごせる環境づくりを継続していく。
2	専門的視点を取り入れた支援を行っていること。	心理士等の専門職の視点を取り入れながら、児童の特性や課題に応じた支援方法を検討している。職員間で助言や意見交換を行い、支援の質の向上に努めている。	専門職の視点を活かしながら、職員の知識や支援の質向上につなげていく。
3	職員同士で日頃から子どもや保護者の様子や気になること、変化などを話し合い、課題の共有をしている。	家庭での様子など、事業所以外での過ごし方などをアセスメントし、変化に対応できるように心がけている。	引き続き、ミーティングや記録を活用し情報共有の機会を充実させ、支援の方向性や対応方法について職員間で共通理解を深めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応についてや、非常時を想定した訓練等について保護者様への周知が行き届いていないこと。	訓練等は定期的を実施しているが、その日利用されていない保護者様への情報共有が行き届いていないこと。	訓練等を実施した際には、その様子などをLINEなどで連絡し、周知につなげていく。 対応マニュアル等についても、今一度周知を図るための説明の機会を設ける。
2	保護者様同士の交流の機会や、きょうだい同士の交流の機会が設けられていないこと。		アンケート等を実施し、ニーズの把握をするとともに、実施に向けた体制を整備する。
3	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）との連携の機会が少ないこと。	協力医療機関や地域の病院等での連携が担当者が行っていたり、事業所内での事故や怪我がなく協力医療機関を受診する機会がなかった為。	連携や情報共有の機会を増やしていく必要がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	IPPOプログラミング須磨校
------	----------------

公表日 2026年3月30日

利用児童数 37

回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	0	0	0	円形や向かい合って座らなくてもよい様に1人ひとりに机とイスがあり落ち着いて活動でき、イベントがある時は先生と子ども達が力を合わせて活動するスペースがあります。	今後も活動内容や利用人数に応じてスペースの使い方を工夫し、安全に活動できる環境づくりについて検討します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2	0	3	人手が足りておられるのが少し心配になることがあります。	職員の配置数は人員基準を満たしていますが、子どもが安心して過ごせるよう、見直しや最適化を検討します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1	0	2	生活空間は整理整頓されており明いですが、下駄箱、自分の持ち物、鞆等の収納場所があります。情報伝達は目に分かりやすく構造化されていたと思います。(掲示物等)	施設内の環境について再確認し、子どもたちが安全に過ごせるよう環境整備や掲示物等の見直し、最適化を検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	0	0	0	子ども達の興味に合わせて図鑑がそろっています。(最強図鑑シリーズ)心地よく過ごせています。	今後も心地良く過ごせるよう環境整備を行うとともに、ニーズに応じた空間づくりを検討します。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	0	0	子どものごことを理解してくださっています。ありがとうございます。	こどもの特性に応じた専門性のある支援が実施できるよう、専門知識を深める研修等の開催を検討します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	0	0	0	プログラミング、寿司打、マイクラ、人狼(カード)でコミュニケーションを楽しむ等合っています。今後はもっと、プログラミング大会に出してみたり何かチャレンジさせてみて良いのでは?と思いました。	今後もこどもたちの興味や特性に合わせて、様々な活動を取り入れ、楽しく参加できる支援プログラムの充実に努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	27	0	0	0	プログラミングの机上の学びだけでなく、人との交流、体操、学習、自由時間等、工夫して作成されています。	引き続きこども一人ひとりの特性や課題、保護者様のニーズを踏まえた個別支援計画の作成と支援を行います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	0	0	1	家族の不安や悩みをご相談させて頂くと、丁寧にご対応いただけることを感謝しております。	今後も保護者様が安心して相談できる環境づくりに努めます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	0	0	0		放課後等デイサービス計画に基づき、引き続きこども一人ひとりに合わせた支援を行います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2	0	0	プログラミング他、外出プログラム、クッキング、アイロンビーズづくり、とても工夫されています。	今後も様々な活動を通して、こどもたちが楽しく成長できるよう活動内容の工夫を行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	4	14		地域との関わりについて、交流活動等の機会について検討します。
保 護 者 へ の 説	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0	丁寧にご説明してくださいました。	今後も保護者様に分かりやすく伝えられるよう、説明の仕方などを見直し、検討します。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0	保護者の都合に合わせてくださり適切にご説明くださっています。	個別支援計画書を示しながら、分かりやすく説明するよう努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	3	13		保護者様も参加できる研修会や情報交換ができる場の提供について検討します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	0	0	1	ご送迎時に丁寧にその日の子どもの様子を教えてくださいました。記録に文章と写真を掲載して下さり、様子がより分かるようになり感謝しています。	引き続き送迎時などにその日の様子を伝えられるとともに、保護者様に事業所内で様子がイメージしていただけるような方法を検討していき、共通理解が深まるよう努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	3	2	2	通所日の子どもの様子で、活動している時の「その時あの時」の子の表情がいきいきしていたとピンポイントで教えてくださいましたので、家庭での子どもとの会話や興味の広がりに役立っています。ありがとうございます。	保護者様との面談や日々のやり取りを通して相談や助言を行っています。今後は面談機会の周知や相談しやすい環境づくりをより一層進めていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	0	0		共感的な支援が充実できるよう、引き続き保護者様との情報共有などを通してこどもの状態把握に努めます。

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	5	13		保護者様同士の交流や、きょうだい同士の交流の機会が設けられる場の提供について検討します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	0	3	保護者の相談に対して迅速にご対応くださり申し訳なく思っています。感謝の気持ち一杯です。	対応の体制について整備していくとともに、改めて連絡方法や相談窓口の案内を行い、迅速な対応ができるよう努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0	0	1	電話だけでなく、LINEでいつでも連絡できて助かっています。	送迎時や電話、LINE等を通して情報共有を行っていますが、今後も保護者様との意思疎通がより円滑に行えるような方法等について検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	2	0	1	ペーパーレス化が進んでおり助かっています。できればこのアンケートもインターネット上でできたらいいと思います。	活動内容や予定がより分かりやすく伝わるよう、発信方法や内容の充実を図っていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	0	0	1		今後も職員間での周知徹底を図り、適切な管理と取扱いに努めていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1	0	9	契約時に保護者に説明いただきました。	保護者様への周知・説明方法について検討していくとともに、今後も職員間で内容を確認し、定期的な訓練や見直しを行いながら安全対策の強化に努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	1	8		今後も継続して定期的に避難訓練等を行い、非常時に適切な対応ができるよう体制の強化に努めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1	0	3		今後も安全対策について保護者様への周知を行いながら、安心して利用していただける環境づくりに努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	2	0	3	契約時に提携医療機関、保険内・保険対象外について説明がありました。	事故等が発生した際には速やかな連絡と状況説明を行うよう努めています。今後も迅速かつ丁寧な対応を心掛け、再発防止にも取り組んでいきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	1	安心して通うことができ本当に有難いです。普段したことがない経験、マイクラ、アイロンビーズづくり、年上の同性的子どもさんとの関わりなど、IPPOさんの先生方が見守って下さるので安心して初めての事でもその一歩を踏み出すことが出来ています。その一歩は親子にとって尊いことです。先生方ありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。	今後も子ども一人ひとりに寄り添った支援を行っていくとともに、安心して過ごせる事業所づくりに努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2	0	0	いつも通所を楽しみにしています。ありがとうございます。	今後も通所を楽しみに思っていただけよう、子ども達のニーズに即したイベントや活動内容について検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	0	0	0	プログラミング検定の受験に対するサポートもして頂き、ありがとうございます。	引き続き子ども達が安心して過ごせる環境を整えていくとともに、子ども一人ひとりに合わせた支援が行えるよう職員の支援の質向上に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IPPOプログラミング須磨校				公表日	2026年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		活動スペースと余暇スペースを分け、安全に活動できるよう工夫しています。	利用人数が多い日には活動スペースがやや狭くなることもあるため、机の距離の調整やスペースの有効活用を検討していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		活動内容や時間帯に応じて、職員の配置を調整し、子ども一人ひとりに目が行き届くよう工夫しています。	突発的な欠勤時などでも安定した対応ができるよう、対応方法のマニュアル化や共有を進めていきます。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		活動スペースを分かりやすく区分し、視覚支援として、スケジュールやルールを掲示し、子どもが見て理解しやすい形にしています。	子どもの特性に応じた視覚支援ツールをさらに増やし、より分かりやすい環境づくりを進めていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		整理整頓を心がけており活動の範囲を広くとっています。	季節に応じた室温設定や室内換気の管理を徹底し、今後も快適に過ごせる環境づくりを継続していきます。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別空間の確保ができるよう取り組んでいます。	必要な際にはパーテーション等で個別空間の確保ができるよう、今後も継続してこどもの状態把握に取り組みます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		日々のミーティングと目標を定め会議や研修等行っております。	記録や振り返りの時間をより確保し、支援の質向上につなげていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者様からの評価表やご意見を元によりカリキュラムの改善やイベントの実施など行っています。	今後も保護者様の意向等を把握できるよう、日々の情報共有等を徹底して行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		月一の管理者面談を実施しています。また、必要に応じて個別で業務改善の話合いを行っています。	職員の意見や課題をより反映できるよう、定期的な振り返り等の場をさらに充実させていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者委員会の設置はないが、法人内で情報共有を随時行い、偏った情報で運営されないようにしています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		月一で社内研修を行っています。	より専門性の高い支援につながるよう、研修内容の共有や振り返りの機会を充実させていきます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		5領域やこどもの発達段階に合わせて職員間で話し合い、支援プログラムを作成しています。	こどものニーズに応じた活動がさらに充実するよう、継続してプログラム内容の見直しを行っていきます。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		契約前にアセスメントを実施し、ニーズや課題の把握に努めており、更新時には保護者様の意見傾聴して作成しています。	定期的に振り返りを行い、より実態に即した支援計画となるよう見直しを行っていきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		日頃の子ども達の様子は、朝会やカンファレンス等で話し合い、計画書へ反映しています。	こどもの状況をより的確に反映できるよう、職員間の情報共有をさらに充実させていきます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		サービス担当者会議で職員全員の意見を聞き、個別支援計画書に沿った支援を実施しています。	より支援の統一が図れるよう、情報共有の方法について引き続き検討していきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の活動の記録を作成しそれをもとにミーティングを行っています。	支援の質向上につながるよう、記録の仕方や記録の活用方法について引き続き検討していきます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		保護者様や子ども達にヒヤリングを行い、個別に必要な支援内容も踏まえながら具体的な支援内容を設定しています。	ガイドラインへの理解を深め、より適切な支援につながるよう職員間で共有していきます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で話し合いを行い、こどもの興味や発達段階を踏まえた活動プログラムを作成しています。	こどもの状況に応じた活動がさらに充実するよう、継続してプログラム内容の検討を行っていきます。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		こどもの興味や季節行事を取り入れることで様々な活動になるよう工夫しています。	活動内容がより幅広いものとなるよう、継続してプログラムの見直しや、実施後の振り返り等を行っていきます。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、無理の無い形で活動に参加できるよう配慮しています。	こどもの状況に応じた活動内容となるよう、引き続き支援方法の検討を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援前に職員間で情報共有を行い、その日の支援内容や役割分担を確認しています。	より円滑な支援につながるよう、情報共有の方法について引き続き検討していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後にこどもの様子や支援内容について職員間で振り返りを行い、気付いた点等を共有しています。	振り返りの内容を支援改善につなげられるよう、記録の活用方法等について検討していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の支援に関して振り返りシートと日報を作成し、こどもの様子を把握するとともに支援内容の振り返りを行っています。	記録をより支援の改善につなげられるよう、記録内容の質の向上に努めるとともに、活用方法について検討していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、こどもの状況に応じて支援計画の見直しを行っています。	より実態に即した計画となるよう、保護者様との情報共有を大切にしながら見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		自立支援や創作活動、地域交流、余暇活動などを取り入れ、こどもの発達に応じた活動を行っています。	こどもの興味や発達段階に応じた活動となるよう、内容の充実を図っていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		こどもが自分で活動を選択できる機会を設け、主体的に活動に参加できるよう支援しています。	こどもの自己決定をより尊重できるよう、選択肢の提示方法などについて引き続き検討していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		こどもの状況を把握している職員がサービス担当者会議に参加し、支援状況や課題について情報共有を行っています。	こどもの状況をより適切に共有できるよう、事前の情報整理や職員間の共有を引き続き行っていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて学校や関係機関と情報共有を行い、連携した支援が行えるよう努めています。	こどもにとってより適切な支援となるよう、関係機関との連携をさらに深めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校との情報共有を行い、こどもの様子や支援方法について連携を図っています。	こどもの状況に応じた支援につながるよう、学校との連携方法について引き続き検討していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		必要に応じて関係機関と情報共有を行い、こどもの状況を把握した上で支援を行っています。	支援の継続性を大切にするため、関係機関との情報共有の機会をさらに充実させていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		必要に応じて関係機関へ支援状況の情報提供を行い、支援の継続につながるよう努めています。	移行時の支援がより円滑に行われるよう、情報共有の方法について検討していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		必要に応じて関係機関と情報共有を行い、事業所内で研修を行っています。	支援の質向上につながるよう、連携や情報共有の機会を引き続き検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		地域の行事や外出活動等を通して、地域との関わりを持つ機会を設けています。	地域との関わりがより広がるよう、活動内容について検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	現在、自立支援協議会等へ参加はしていません。	自立支援協議会等へ参加し、資質向上につながる場を設けます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時の会話等を通して保護者様と情報共有を行い、こどもの状況についての共通理解ができるようにしています。	保護者様との情報共有をさらに充実させるため、引き続き意見を伺う機会を大切にしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	家族支援プログラムは実施していませんが、必要に応じて保護者様へ支援に関する情報提供を行い、子育てに関する相談等にも対応しています。	引き続き保護者様が参加できる機会や情報提供の方法について、検討していきます。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に運営規程や利用者負担等について説明を行い、保護者様に理解していただけるよう努めています。	保護者様がより理解しやすいよう、引き続き説明方法について検討していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		日頃の関わりや面談を通して、こどもや保護者様の意向を確認しながら支援を行っています。	こどもや保護者様の意向をより反映できるよう、意見を伺う機会を大切にしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		個別支援計画について保護者様へ説明を行い、内容を確認していただいた上で同意を得ています。	保護者様により理解していただけるよう、分かりやすい説明の仕方等について検討していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者様からの相談には随時対応し、必要に応じて面談等を行っています。	引き続き保護者様が相談しやすい環境づくりを大切にしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4	実施まで至っていませんが、必要に応じて保護者様同士が情報交換できる機会について検討しています。	保護者様同士の交流の機会について、二ーズを踏まえながら検討していきます。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情受付の体制を整え、保護者様へ周知するとともに、苦情や意見があった場合には職員間で共有し対応しています。	苦情や意見をより支援の改善につなげられるよう、引き続き情報共有を行っていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		活動の様子や行事予定等について、Instagram等を通して保護者様へ情報発信を行っています。	保護者様へより分かりやすく情報を伝えられるよう、引き続き発信方法について検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の取り扱いについて職員間で共有し、適切な管理を行うよう努めています。	個人情報保護の意識を高めるため、引き続き職員間での確認や共有を行っています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		子どもや保護者様の状況に配慮しながら、分かりやすい説明や情報共有を行うよう心がけています。	より円滑な意思疎通が図れるよう、支援方法や伝え方について検討していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域との関わりを大切にし、必要に応じて地域行事等への参加を検討しています。	地域との交流の機会を広げられるよう、活動内容について検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルを整備し、必要に応じて職員間で確認を行うとともに、訓練の実施に努めています。	緊急時に適切な対応ができるよう、訓練やマニュアルの確認を継続して行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		災害時に備え、避難訓練等を実施し、職員間で対応について確認しています。	非常時に備えた対応がより適切に行えるよう、引き続き訓練内容や体制について検討していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		利用前に子どもの健康状態や服薬状況、発作の有無等について保護者様から情報を確認し、職員間で共有しています。	体調や服薬状況の変化にも気付けるよう、引き続き保護者様との情報共有を行っていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	4		食物アレルギーの有無について事前に確認し、職員間で共有し対応しています。	誤食防止のため、職員間での確認や情報共有を引き続き徹底していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画に基づき、職員間で安全管理について確認しながら支援を行っています。	安全に支援が行えるよう、研修や情報共有を通して安全意識の向上に努めています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		子どもの安全確保について、必要に応じて保護者様へ説明しながら連携を図っています。	家族との連携をより深められるよう、引き続き情報共有に努めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット事例について職員間で共有し、再発防止に向けた対応を検討しています。	事故防止につながるよう、引き続き事例共有と振り返りを行っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止に関する研修や情報共有を行い、適切な支援が行えるよう職員間で意識を高めています。	職員の理解を深めるため、研修や話し合いの機会を定期的に設けるようにします。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束については原則行わないことを基本とし、やむを得ない場合の対応について職員間で確認しています。	子どもの安全と権利を守れるよう、対応方法について引き続き職員間で共有していきます。